



開校60周年記念式典を終えて

副校長 本間 貴之

本校は、本年、開校60周年という節目を迎え、10月29日に記念式典を挙行了いたしました。

当日は、多くのご来賓の方々にご臨席いただき、改めてこの学校が地域の皆様に支えられ、愛されてきたことを感じました。子供たちにとっても、学校の歴史と地域への感謝を実感する貴重な機会となりました。また、挙行にあたっては、開校60周年を祝う会・実行委員会の皆様、PTAの皆様、学校応援団の皆様に多大なるご協力を賜りました。本当にありがとうございました。

式典後に上映した記念映像では、60年を振り返る写真とともに、現在の児童の笑顔や日々の学びの様子を紹介しました。映像の後半では、本校の教育活動の特色である「柿の木プロジェクト」を紹介しました。昨年度植樹した苗木は、これからの学校の発展を象徴する存在です。10年後、20年後、この木が大きく育ち、再び子供たちを見守る姿を思い描くと、60年の重みと次の世代への責任を改めて感じます。映像後は、40年ぶりに復活した「春江音頭」や、合唱「エスペランサ」を披露しました。子供たちは、みなさんへの感謝の気持ちをもって、精一杯表現することができました。皆様からは、「温かい気持ちになった」「子供たちの活躍が素晴らしい」等、今後の励みになるお言葉をたくさんいただきました。

この60年の歴史は、地域の皆様、歴代の教職員、そして保護者の皆様のご理解とご協力の積み重ねによって築かれたものです。校舎の建て替えや災害時の対応、教育課題への挑戦など、様々な時代を乗り越えるたびに、本校は地域とともに歩み、成長してまいりました。これからの学校づくりにおいても、「笑顔とやる気とやさしさあふれる学校」「地域と共に歩む学校」をめざし、教職員一同、力を結集させ、学校教育活動に取り組んでまいります。60周年を新たなスタートとして、未来を担う子供たちが、安心して学び、夢を描ける環境を守り育てていくことが、私たちの使命です。

これまで本校を支えてくださったすべての皆様に深く感謝申し上げます。これからも、春江小学校をどうぞ温かく見守り、ご支援くださいますようお願い申し上げます。